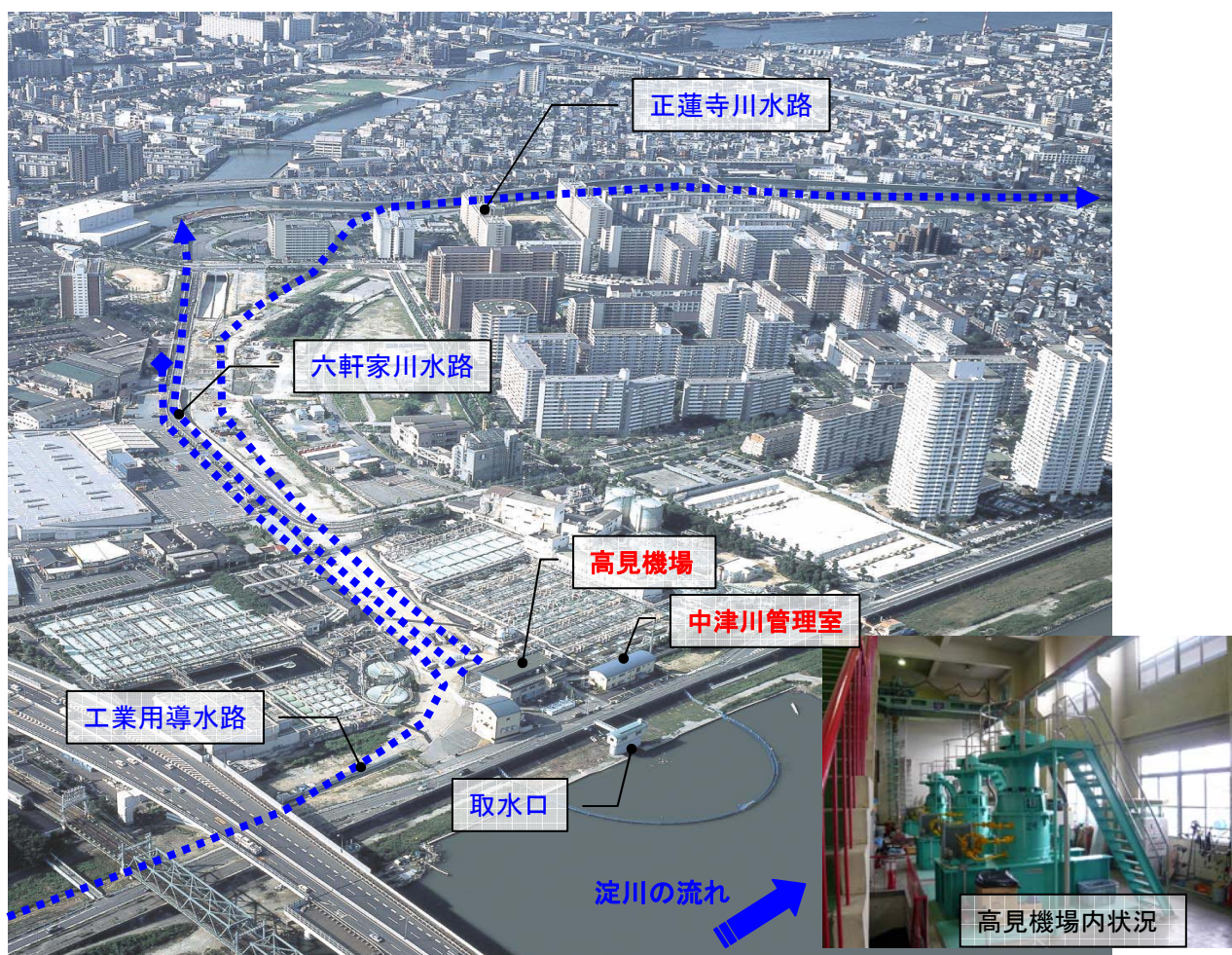


管理開始から15000日目を迎えます（お礼）

1, 正蓮寺川利水事業の管理

正蓮寺川利水事業の管理は、昭和45年7月1日から開始し、平成23年7月25日で、「15000日目」を迎えます。

また、この7月1日には、管理開始以来、「満41歳」を迎えました。



空撮〔「正蓮寺川利水事業」パンフレット表紙〕

2, 中津川管理室の名称等

淀川はかつて大川、中津川、神崎川の3川に分かれていましたが、明治29年に着手された淀川改良工事による新淀川の開削によって中津川は消滅し、開削工事の土砂運搬と舟運の確保のため、新淀川の左岸に沿って運河が設置されました。この運河が正蓮寺川上流部にあたりますが、中津運河（長柄運河）あるいは、中津川と呼ばれるようになりました。

『正蓮寺川利水事業』は、この正蓮寺川上流部を埋立て、その河川維持用水を新規利水に転用する事業ですが、当時読みが同じとなる青蓮寺ダム建設事業が行われてい

たこともあり、事業所名は「中津川建設所」と命名されることとなったようです。

その後「中津川管理所」となり、平成16年4月から関西支社に統合され、「中津川管理室」に改名し、今日に至っています。

3. 正蓮寺川利水事業

正蓮寺川利水事業は、正蓮寺川及び六軒家川の流水の正常な機能を維持するための流量を転用し、阪神地区の都市用水 $8.5\text{ m}^3/\text{s}$ を確保するため、

①正蓮寺川下流部及び六軒家川の従前の機能を維持するための代替施設として淀川本川から最大 $22\text{ m}^3/\text{s}$ の分水を行う高見機場を設置

②正蓮寺川の上流部（中津川、約5.8キロメートル）を埋め立てるとともに正蓮寺川から取水していた既存の工業用水を供給する工業用導水路を建設したものです。

また、これらの事業と関連する

③大阪府の高潮対策事業

④大阪市都市計画街路淀川南岸線建設事業

⑤大阪市の下水道事業

との合併施行を行うものとされ、それぞれ水資源開発公団が受託し実施しました。

④、⑤については建設後それぞれの管理者に引き渡していますが、高見機場については高潮時等に正蓮寺川水門、六軒家川水門が閉鎖された場合、大阪府の指示により淀川に内水排除を行うこととなっています。

平常時の浄化用水の分水と高潮時の内水排除とはゲート操作により切替えを行う仕組みとなっています。



高見機場の屋上より分水施設の下流を望む

4, 関連事業

・高速道路淀川左岸線事業

正蓮寺川利水事業（当初事業）実施当時から計画されていた大阪市道高速道路「大阪高槻線」は「淀川左岸線」に呼称変更され、1期工事は湾岸線北港ジャンクション～神戸線海老江ジャンクションに至る延長5.7kmで、阪神高速道路(株)において事業実施中です。

2期工事も、神戸線海老江ジャンクション～新御堂筋に至る4.3kmで、現在大阪市と阪神高速道路(株)が合併施工方式による事業を進めています。

・正蓮寺川利水施設移築工事

阪神高速道路淀川左岸線を正蓮寺川の河川内に整備するのにあわせて正蓮寺川における総合的な整備（正蓮寺川総合整備事業）が行われており、正蓮寺川周辺は公園等として生まれ変わろうとしています。

このうち、淀川左岸線1期事業の建設に伴い、機構の分水施設等が支障となることから、高見機場ポンプの改造、分水路及び排流渠等の移築工事を平成10年度～平成14年度に行いました。

これにより分水路及び排流渠は、名前も新たに六軒家川水路及び正蓮寺川水路としてリニューアルされました。

また、淀川左岸線2期工事等により、今後、工業用導水路が支障となるため、導水路の廃止も視野に入れた補償協議を進めています。

5, 地震及び津波の対応

平成7年1月の阪神・淡路大震災時には、中津川管理室のある大阪府此花区において震度4でしたが、施設の損傷は一切ありませんでした。また、今年の3月11日の東日本大震災時には、大阪府に津波注意報が発せられたので、第一警戒態勢に入り、河川水位を測定した結果、約60cmの津波を確認しましたが、施設への影響は有りませんでした。これを機に、毎月11日を「防災を考える日」と定め、職員で何をすべきなのかなど、南海・東南海地震等に備えて防災意識の向上を目指しています。

6, 記念メッセージ

常にコスト縮減を念頭に、ストックマネジメントによる各施設の機能保全と適切な維持管理・管理運用を行う共に、機器のトラブル・不具合、水質事故発生の防止に取り組んでまいります。今年度は、東日本大震災の被災状況等を教訓に、南海・東南海地震等の大規模地震を想定した、具体的な支援態勢、防災態勢（案）を作成するなど危機管理の更なる強化に取り組むこととしています。

利水者や住民の皆様へのニーズに応えた心に響くサービス（感動）を提供するとともに、水資源機構の経営理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする。」をモットーに職員一丸となって管理業務を遂行してまいります。

管理開始15000日目の記念にあたり、今日までのご理解・ご支援にお礼申し上げ

げます。

平成 23 年 7 月 吉日

関西支社 中津川管理室長 名和 勝則



新淀川より、高見機場の取水口を望む